

生活に役立つ「スマート農業」のすゝめ

植物の基礎知識から家庭栽培への活用、最新の宇宙農業紹介まで



場 所 飯田橋キャンパス | 受講料 7,500円 (3回) | 定 員 15名 | 単位 1
講座形式 対面 | 対象者

最新の農業技術では「土を使わない」、「太陽を必要としない」、「天候に左右されない」、「作物の美味しさを引き出す」といった新しい栽培手法が注目されています。このような生産性が高く、労力が軽減される農業のやり方をスマート農業と言います。この講座では、ロボットやドローンを使った最先端スマート農業だけでなく、植物栽培の基礎知識の解説や、受講者の皆さんが実際に役に立つ栽培方法として、「とまと水耕栽培」やTVの情報番組にも取り上げられた「雷しいたけ栽培」などを例に挙げてわかりやすく解説します。

また、最新技術を駆使した月面・宇宙での作物栽培についても紹介します。

●現在取り組まれているスマート農業とは？

- ・土や太陽光を使わない栽培方法
- ・作物が成長するには、水、肥料、それ以外に土と太陽が必要!?

●植物、農作物の育成の仕組み

- ・ミツバチの代わりに受粉するドローン（自家受粉：トマト、他家受粉：梨）
- ・「とまと」のおいしさの秘密は、甘さだけ？

●TV情報番組でも紹介された、「雷しいたけ」とは!?

- ・「雷が落ちた年は豊作である」という言い伝え」を実証
- ・紙からも「しいたけ」が栽培できる方法を紹介

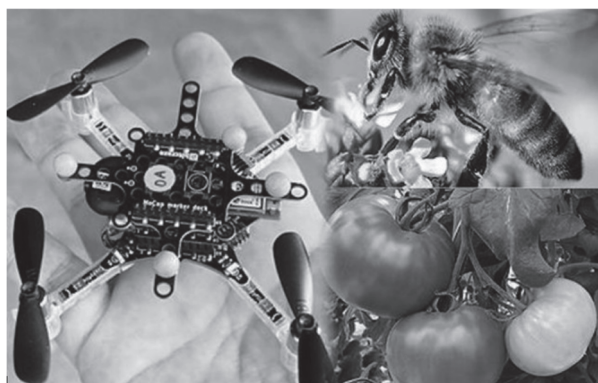
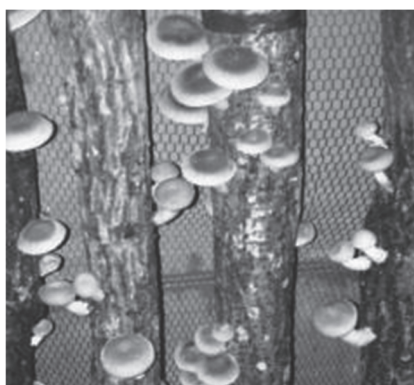
●人工光ととまと水耕栽培方法と、未来のスマート農業

- ・なんでも育つ水耕栽培！
- ・月面／宇宙船での農業とは

※ 3回の講義を通して本テーマを解説する講座です。

各回ごとに必ずしも完結しないことがあります。

※本講座は、講師が過去に実施した同名講座と多少改変された内容です。



曜日 金曜日

時間 17:30～19:00

5月 24日

6月 7、21日

講師



ひらくり たけふみ

平栗 健史

日本工業大学 教授

株式会社イーキューブ

代表取締役社長・CEO

講師略歴

筑波大学 博士（情報学）
日本電信電話株式会社・NTT
アクセスサービス研究所を経て
現在、日本工業大学・基幹工学部・電気電子通信工学科 教授

企業所属時は 世界初のWi-Fiに関する研究開発に従事し、継続して、大学では総務省の受託研究として次世代Wi-Fiや5G、Byend 5G/6Gの研究開発に取り組んでいる。

また、同時に農林水産省から多数のスマート農業に関する研究開発を受託し、トマト、ナシ、サツマイモなどの作物を対象にした研究に取り組んでいる。本講座でも関連する研究成果について紹介する。